



国際ロータリー第2630地区 岐阜A分区

岐阜中ロータリークラブ

Weekly Report

平成 24 年 2 月 21 日(火)

第1000回例会 第922号

会長 伊藤 善 男
 幹事 加納 永 一 朗
 発行 ウェブ委員会
 例会 火曜日 12 時 30 分
 会場 岐阜都ホテル
 事務局 岐阜市神田町 2-2
 電話 058-264-9235

クラブスローガン
明るく楽しい例会づくりで
100%出席を目指そう

2011-12 RI テーマ

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

会長挨拶

伊藤善男会長

博愛を広げるために



岐阜市が教育立市の旗を掲げていく理由として、教育先進国「フィンランドの挑戦」というタイトルで『広報ぎふ』に細江岐阜市長が、昨年3回に分けて掲載された記事を読めばわかると思います。その内容は、弱冠9歳の教育大臣が「教育に投資して新たな産業を興す」として大胆な教育投資・教育改革に取り組み成功させ、しかもPISA(国際的学習到達度調査)で、いつも上位を占める国にしました。

企業に投資しても、その企業はいずれ他国に出て行ってしまいかも知れないが、人という資源に投資すれば、その人はそこにとどまってくれる可能性が高いとして、当時の不況脱出のため、積極的に投資したという考え方はすばらしいと思います。

その方法についても詳細は省略しますが、「先生の裁量権の拡大」や、

「本人のやる気の重要性」「職業資格社会への転換」など、日本においても参考にすべき内容であります。

わがクラブにおいても新世代委員会を通じて「出前講座」というかたちで、岐阜市の教育に対して応援をしています。さらなる皆様方の協力を得て、推進していきたいと思っていますので、よろしくをお願いします。

第3回次年度理事役員会報告

日時:平成24年2月14日(火)13:40~

場所:岐阜都ホテル

司会:柴田和夫次期幹事

開会の挨拶:加藤義明次年度副幹事

出席者と資料の確認:柴田和夫次期幹事

議事録作成者:柴田和夫次期幹事

次年度会長挨拶:安田高志次期会長

議長選出:安田高志次期会長

参加者:安田、加藤(義)、森井、田邊、林、伊藤、加納、故金、勝野、大島、森、柴田(敬称略)

【議題】

第1号議題 次年度会計業務に関する件

柴田次年度幹事より発表があり検討した結果、これを決した。会計書類の正確さを期すよう決した。会計業務の委託費を減額することを決した。会員証の発行についての文言を削除するよう決した。

第2号議題 次年度予算に関する件

柴田和夫次年度幹事より発表があり

検討した結果、これを決した。

第3号議題 その他

次年度クラブアッセンブリー開催日

平成24年2月28日(火)13:30

各委員会を4つのグループに分け、次年度方針を発表・検討していただきます。

閉会の挨拶:森井脩次次期会長エレクト

友情と奉仕の灯を

スマイルボックス委員会

渡辺成洋君

2月に入りましたが、あらためて先月の誕生日、心あらたにスマイルさせていただきます。

米山奨学生レポート

米山奨学生

賀 建龍君



2011年4月からの一年間は、学業に厳しい一年間、家族に特別な一年間、ロータリーの皆さんと会い素晴らしい一年間でした。過去一年間の留学生活の道を振り返ってみると感無量で、

前例会の記録

第999回

平成24年2月14日(火)

[点鐘] 12時30分

[ソング] 我等の生業

[ゲスト] NPO 法人ぎふ・コートジボワール 理事長 杉山利夫様

[ビクター]

[出席] 会員総数34名(出席免除4名)

本日出席22名 64.71%

[行事] 卓話『コートジボワールの子ども達に愛の靴を』

NPO 法人ぎふ・コートジボワール 理事長 杉山利夫様

担当 ロータリー情報委員会

次回予定

第1001回

平成24年2月28日(火)

[点鐘] 18時30分

[行事] 卓話『労務士とロータリー』

三吉労務コンサルティング

所長 三吉由久夫様

担当 国際奉仕委員会

いろいろな思いが出てきました。

4月から博士3年生になり、研究が忙しくなりました。ロータリー米山奨学生になり、クラブの皆さんと仲良くしました。6月に家族も増えました。10月にクラブの皆さんと長良川の周りで月見し、日本の風土習慣や文化の理解をもっと深めました。

2012年1月に博士論文の最終審査を無事に終えてほっとしました。一步一步ここまで来ました。ロータリーの皆さんの優しい心を持ち、精神と経済的なサポートを忘れません。大学院で5年間中、先生方の熱心な指導および日本人の友人からアドバイスなどのおかげで、やっと研究結果を有名な米国微生物雑誌に載せていただきました。日本に留学しに来て青春の貴重な一時期を日本で生活したから、勉学目的を達成するだけではなく、多くの日

本人と親しい友人関係を作りました。日本人との友人関係は帰国後も生き続ける貴重な留学の成果となると思います。近年、環境問題については世界中で関心が高まっています。帰国してバイオマスに関連する研究を続けます。日本で学んだ知識を今後の仕事に十分活かし、中日交流の微力ながらも力を尽くしたい。

中根辰朗カウンセラー

最終目的である博士論文最終審査を終了させたことは何よりです。ロータリー活動にも、月一回の例会参加に加え、夜間例会、奉仕活動にも積極的に参加してもらいました。学業終了後においても、この貴重な日本での学業体験、生活ロータリー活動経験を日中国際友好の大きな糧とされることを期待しています。

卓 話
『コートジボワールの
子ども達に愛の靴を』
卓話者 NPO法人
ぎふ・コートジボワール
理事長杉山利夫様
※ 卓話はホームページの卓話集
へ掲載しています。



卓話者 杉山利夫様